

芸術実践と人権

マイノリティ、公平性、合意について



参加費
無料

▶ オンライン講義 & 作品プレゼンテーション

LGBTQ ART LABORATORY

— 社会と LGBTQ コミュニティ をクリエイティブにつなぐ可能性 —

vol.1 2020年 11月7日(土) 13:00-16:30

「LGBTQ とノンケをクリエイティブにつなぐ」

講師：太田尚樹氏 (LGBT エンタメサイト『やる気あり美』編集長)

井上涼氏 (アーティスト)

vol.2 2020年 11月22日(日) 13:00-16:30

「多様な価値観をつくるためのアートの役割
福岡アジア美術館の実践から」

講師：趙純恵氏 (福岡アジア美術館 学芸員)



主催 | 京都精華大学
共催 | 京都市・一般社団法人地域共生社会創造ラボ
プロジェクトリーダー | 山田創平
プロジェクトコーディネーター | 内山幸子・緒方江美
一緒に考える人(モデレーター) | あかたちかこ
令和2年度文化庁 大学における文化芸術推進事業



要予約【lgbtqseminar@kyoto-seika.ac.jp】に、ご氏名・連絡先をご記載の上お申込みください。

近年、社会的な問題や課題を、アートプロジェクトを通して検討し、解決への道筋を探ろうとする動きが盛んです。しかし、LGBTQ（性的少数者）の社会包摂とアートプロジェクトとの関わりについての研究や実践は国内にほとんど存在していません。

そうした中、クリエイティブな試みを通じて、性的マイノリティへの理解促進を試みる団体や、美術の中での性的マイノリティの歴史をアーカイブする試み、また、当事者であるアーティストの表現活動を積極的に紹介する美術館の取り組みは貴重です。

「芸術実践と人権 — マイノリティ、公平性、合意について」では、社会と LGBTQ の接点をさぐる活動を行う団体やアーティスト、LGBTQ に焦点を当てた美術展など、国内外での取り組みのキーパーソンを講師として迎え、オンライン講義形式の事例紹介を通じて社会における性的マイノリティをとりまく課題を共有し、クリエイティブに解決するアイデアをみなさんと共に探ります。

さらに、2019年より活動を始めた展覧会グループ「LGBTQ ART LABORATORY」に参加する、コミュニティ発の20代から30代を中心とした若手アーティストの作品プレゼンテーションを試みることで、社会とLGBTQコミュニティをクリエイティブにつなぐ可能性を考察します。この機会に、是非ご参加ください。

Exhibition×Presentation LGBTQ ART LABORATORY について



LGBTQA 等のセクシュアリティや、ジェンダーをテーマに表現活動を行うアーティストやクリエイターが一同に集い、作品発表とプレゼンテーションを行うことで、アートを通じたネットワークをつなぐ試みです。2019年に大阪のゲイ・バイセクシュアル向けコミュニティセンター dista にて、第1回目の作品展を実施し、インスタレーション、立体を含む20点を展開しました。プレゼンテーションの中で、自身のセクシュアリティと表現についての接続を語り、コミュニティが抱える HIV/AIDS を取り巻く状況と課題について各自が対話するなど、アート作品を通じて、セクシュアルマイノリティをテーマとした表現活動を行う様々なクリエイターネットワークをつなぐプログラムを継続しています。

参加作家



イラストレーター
Fumiya.K



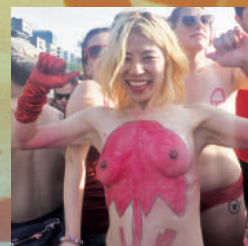
写真家
JONAS VAN DER HAEGEN



フォトクリエイター
YAMATO



造形家
日ノ本虎徹



女優パフォーマー
元セックスワーカー
げいまきまき



photo YAMATO illust Fumiya.K Design Daisuke Goto

お問い合わせ先 京都精華大学 社会連携センター 〒606-8588 京都市左京区岩倉木野町 137

TEL : 075-702-5263 (平日のみ) FAX : 075-722-5440 MAIL : lgbtqseminar@kyoto-seika.ac.jp